平成10年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動ー生きる力を育てる活動を重視してー」

◎ 研究集録発刊にあたって 部会長 菱田 功

- ・ 特別活動で重視してきた、「自ら学び、自ら考える力を育成すること」が「生きる力」を育成するための基本方針として示された。
- ・ 新しい時代の教育は、特活的な内容が重視されたものといえ、本研究会の成果が各学校の新しい教育の実践に還元されることを願う。

◎ 平成10年度研究方針

1 研究方針

- ・ 「子どもたちの成長を温かく見守っていく」という視点から、「子どもたちのもっている資質や能力を育てる」という視点に変えて研究を推進する。
- ・ 「特別活動における生きる力とは何か」「生きる力を育てるためには、どのような活動が考えられるのか」という点を明らかにしていきたい。

2 研究方針の具体化

「生きる力」を、①課題を見つける力、②自ら学び、考え、判断する力、③行動し、よりよく問題を解決する力に細分化し、その三つの力を育てるために以下の活動を子どもたちの活動の中に設定する。

- ① 生活を振り返り、自分たちの置かれている現実を知る活動
- ② 全員が願いや知恵を出し合って目標を決める活動
- ③ 全員で決めた目標を達成する活動

◎ 研究経過概要

◎ 学級活動小学校第1部会のまとめ

- 指導の工夫における重点項目
- 実践の取り組み（指導の工夫とあらまし）
- 実践1 学年オリンピック大会をしよう（小5）
- 実践2 なかよし出店集会をしよう（小1）
- 実践3 学級ボランティア隊をつくろう（小6）
- 実践4 外国の留学生とふれあい集会をしよう（小5）

◎ 学級活動小学校第2部会のまとめ

- 指導の工夫における重点項目
- 実践の取り組み（指導の工夫とあらまし）
- 実践1 大きな声を出してみよう（小3）
- 実践2 生活をみつめて、もっと楽しい学級にしよう（小3）
- 実践3 友達への思いやりをもとう（小5）
- 実践4 自分を好きになろう（小4）

◎ 児童会部会のまとめ

- 指導の工夫における重点項目
- 実践の取り組み（指導の工夫とあらまし）
- 実践1 みんなの力でチャレンジランキング集会をしよう（全校児童集会）
- 実践2 みんなで協力してお祭り集会をしよう（ペア学級での活動）
- 実践3 自分たちで児童集会をつくり挙げよう（集会委員会）

◎ クラブ活動部会のまとめ

○ 指導の工夫における重点項目

- ・ クラブ活動の開設の方法や運営の在り方を集約・整理し、様々な選択肢を示す

- 1 調査結果の概要
- 2 開設方法
- 3 クラブ発表会

◎ 中学校部会のまとめ

○ 指導の工夫における重点項目

- ・ 集団活動を通して、一人一人の主体性を養うとともに、学級の団結を高める
- ・ 体験活動を通して、生徒一人一人が自分自身を理解するとともに、他の生徒を受容する態度を養う
- ・ 毎日の活動を通して、自分の特性を生かしながら、将来への生き方を探る

○ 実践の取り組み（指導の工夫とあらし）

- 実践1 自分らしい生き方を考えよう（中3）
- 実践2 音楽会を成功させよう（中3）
- 実践3 学級祭を作りあげよう（中1）
- 実践4 自分の個性を生かして芸術祭を成功させよう（中2）
- 実践5 常滑で「ふれあい・体験」しよう（中1）
- 実践6 会社組織に見立てた係活動をしよう（中1）
- 実践7 バスケットボール大会を楽しもう（中1）

◎ 学校行事部会

○ はじめに

- ・ 運動会のよりよい実施方法を探り、その内容例を紹介する。

- 表現運動，競争演技，短距離走，リレー種目，PTA・職員競技，児童以外の参加種目，練習時間，その他

○ おわりに

◎ 特活入門部会

○ はじめに

- ・ 特別活動の基礎・基本を学ぶ場として本部会で取り組んできた成果を紹介する。

- 1 活動の経過
- 2 話合いの様子
- 3 おわりに

◎ 後記

委員長 前村 嘉治

- ・ 特別活動における「生きる力」を①課題を見付ける力，②自ら学び，考え，判断する力，③行動し，よりよく問題を解決する力の三つに細分化して考えた。
- ・ 三つの力を育てるために，「生活を振り返る」「目標を決める」「目標を達成する」の三つの活動を位置付け，研究を進めた。